



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 32

2010.3.3 (No.2583)

第2560地区ガバナー／植木 康之
会 長／菊池 涉
会長エレクト／樺山 仁 (クラブ奉仕A)
副 会 長／山田 富義 (クラブ奉仕B)
幹 事／松永 一義
S A A／成田 秀雄
会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:55名中40名
■先々週出席率:90.20%

【ゲスト】

・ 経営・ISOコンサルタント
オフィスタケイシ代表 武石宣夫 様

【ヴィジター】

三条南RCより
・ 葦澤喜一郎さん
米山奨学生
・ ケオ・ヴィチェット君



「ロータリーの未来は、
あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

季節のお花 (梅)



会 長 挨拶

菊池 涉 会長

ご挨拶申し上げます。



先週は夜例会。親睦委員の皆様ご苦労様でした。おかげで美味しい出雲崎の魚をいただきました。参加された皆さんから「美味しかった」というお言葉をいただきました。帰宅後早速家内に「今度、出雲崎へ行くか」と申しましたところ、「遠いよね…」これが家内のご返事。なにか寂しい限りです。

私は、例会時もそうですが、話題に困るとついつい家内や息子を引き合いに出して話の種にいたします。もっとも息子は妻も子供もできましたのであまり悪口は言わぬように努めておりますが、その分家内を引き合いにすることが多くなります。彼女はそれも面白くないようです。

愛情表現に二通りありまして、「好きだ、綺麗だ」とほめるタイプと、「バカだ、ブスだ」とけなすタイプがあるのです。どうも私は後者の方のようで、小学校の頃から好きな女の子のズックを隠したりして苛めてばかり、なかなか想いを伝えることができない損なタイプのようなのでした。皆さんは如何でしょうか？

私が家内を引き合いに出して悪口を申しますのは、一種の愛情表現なのですが、なかなか彼女には伝わりません。「どうせ私はチビでノロですよ」とひがむことひがむこと。30年間そんな繰り返しです。

「剛毅朴訥仁ニ近シ」、むやみやたらに喜ぶなどいうことなのかも知れませんが、家内は「よろこび」を素直に表現できないタイプの女性です。奮発してレストランで食事などすると、うれしくせに「お父さん、これいくら？家で食べれば安いのにね…」、いつもこんな調子です。なかなか素直によろこばない。〈よろこび下手〉というのでしょうか？私も少々そんなところがありまして、オーバーアクションでよろこびを表現するなどということは苦手な方ですが…。

でもせっかくの人生、言葉は少なくとも、うれしい時にはそのうれしさを自然に相手に伝えることは大切なことだと思っています。

そのための第一条件は、まず「心」です。「よろこぶ」という心のありようです。本当によろこんでおれば、それは自然と表に現れるはず、相手に伝わるはずでしょう。テクニックではないはずです。

この暗愁に充ちた人生を励ましてくれるのは日々のよろこびでしょう。ほんの少しのことをよろこべる心でしょう。

そこで皆さん提案がございます。一日一回、どんなことがあってもよろこぶ。小さなことで良いのです。「孫が笑った」「晴れて弥彦がよく見えた」でも、「風邪が軽くすんだ」でも「ネクタイが上手く結べた」でも何でもいいのです。そしてそれをこまめに手帳に書き留めておく。

更に一週間の中から一番の「よろこび」を見つけ出して、スマイルボックスに千円を添えて入れる。こんな簡単なことで、人生が潤うのです。どうぞお試しあれ！

幹事報告

松永一義 幹事

◎三条ライオンズクラブより、市内7クラブ会長・幹事会開催のご案内が届いております。

と き 4月16日(日) PM6:30～

と ころ 料亭 一富 (三条市西本成寺)

ニコニコBOX

蕪澤喜一郎さん (三条南RC)

2010～2011年度の東山ガバナーから第4分区AGの指名をいただきました、三条南RCの蕪澤です。大変お世話になりますが、よろしくお願ひ致します。貴クラブの益々のご活躍とご繁栄をご祈念申し上げます。

菊池 涉さん

“おひなさま”なのに寒い日です。我が家の“おひなさま”は何年も押入の中で眠っておられます。

渡邊喜彦さん

お陰で、ようやく今月13日に大学を卒業させていただくこととなりました。長い間ありがとうございました。尚又、大学院の合格発表があり、もう少し頑張ることにしましたので、よろしくお願ひします。

浅野金治さん

米山奨学生のケオ・ヴィチエツト君、本日をもって卒業です。

2年間ありがとうございました。

五十嵐昭一さん

桃の節句になりました。

早く春が来て、桜の花が咲いてほしいものです。

斎藤弘文さん

会田二郎会員が黙々と戸別訪問している姿を見て、感心致しました。

樺山 仁さん

先週の新春例会、楽しんでできました。毎月あるといいですね。

平原信行さん

出雲崎、みよやの新年会、楽しませていただきました。

武石様、卓話ありがとうございます。

荻根澤隆雄さん

お陰様で、元気で例会に出させて貰っています。

武石様、ご苦勞様です。

西川文夫さん

すみません。早退させていただきます。

若槻八十彦さん、杉山幸英さん、山田富義さん、

斎藤真澄さん、丸山行彦さん、松永一義さん、

石月良典さん、渋谷健一さん、伊藤寛一さん、

船越正夫さん、高橋 司さん、会田二郎さん、

小出子恵出さん

武石宣夫様、本日は卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

3月3日分 ¥35,000

今年度累計 ¥822,500

ご挨拶



2010-11年度
第4分区分区アシスタントガバナー
葑澤喜一郎 様

2010-2011年度 東山ガバナーから第4分区分区AGのご指名をいただきました、三条南RCの葑澤です。第1回クラブ訪問に参りました。

2月20日(土)第4分区分区次年度会長・幹事会を開催し、次年度 樺山会長、明田川幹事からご出席をいただきました。

当地区の2010-2011年度PETSが3月13日(土)に、地区協議会が5月22日(土)に上越市内で開催されて本番に入ります。

そして、9月4日(土)第4分区分区IMを燕三条ワシントンホテルで開催致します。ご協力をお願い致します。

馬場ガバナー年度には、地区大会等、諸事ご協力をいただき大変お世話になりありがとうございました。

東山ガバナーと第4分区分区内クラブのパイプ役としての務めを果たしたいと思っております。

ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

米山奨学生 ケオ・ヴィチェット 君

米山奨学生として、皆さんと会えるのは今日が最後になります。この2年間、米山奨学生となれたことは、とても幸せでした。奨学生になる前は、学費、生活費全て自己負担で、それを賄う為にアルバイトをしました。

勉強の為の時間が足りなくて、学生生活がとても不安でしたが、奨学金をいただき、勉強、研究に専念でき、また、いろいろな課外活動もすることができました。今月、卒業できます。皆さん、ありがとうございました。



卓 話

「ドミニカ共和国でのボランティア体験」



経営・ISOコンサルタント
武石宣夫 様

ドミニカ共和国は日本のちょうど裏側、キューバの南に浮かぶカリブ海の島国です。この島は1492年にコロンブスが見つけた島です。世界最貧国と言われているハイチと島を二分しています。九州と高知県を合わせたくらいの広さで、人口は約900万人、うち日本人は、50年前の日本人の移民の方々も含めて、およそ800人です。私の住んでいた首都のサントドミンゴは約200万人、政治経済の中心でとても活気がありました。

市内はちょうど日本のバブル期のようなマンションの建設ラッシュでした。日本との時差は13時間で、日本より半日以上遅れています。しかし、日本のニュースはパソコンで昼夜に関係なくいつでも見ることができ、アメリカのテレビ放送もリアルタイムで見ることができました。

郵便制度は日本ほど発達していませんが、パソコンメールとスカイプ電話で即時に通信でき、情報収集に不自由はありませんでした。言葉はスペイン語で、英語は役所とか企業の幹部など限られた人だけでした。政治体制は大統領制です。

気候は亜熱帯性で乾季と雨季がありますが、気温は1年中を通じて31度前後でした。部屋の中や、木陰は涼しく風もあり、夏服だけで快適に過ごすことができました。日本より赤道に近く緯度の低いドミニカは、地軸の傾きが少ないので年間を通して日照時間が大きく変わらないということでした。気候に恵まれたドミニカは植物が良く育ち、1年中花が咲いています。サントドミンゴの街路樹や公園でハチドリを見ることができ、アパートの窓辺にインコがとまっていることもあり、野鳥の宝庫でした。

主産業は農業です。ハイチ人の低賃金労働力を使って、砂糖きび、コーヒー、果樹、米などを大々的に生産しています。また、観光立国でもあり、アメリカ・ヨーロッパからのリゾート客が年間約400万人訪れています。

私のボランティアの指導科目は品質システムで、ISO9001の認証取得と定着を支援することでした。帰国前には、日本語を習いたいという同僚や市民のために、家内と一緒に週1回日本語の練習と日本文化の紹介も兼ねた授業を行いました。ドミニカ人は

熱しやすく冷めやすいのか、途中で受講生がどんどん減ってしまいましたが、また新たな市民も加わり、1年間で35回開催できました。

これからもこの経験を活かして、機会があったら、また、ボランティア活動に参加したいと思います。

ドミニカ共和国での ボランティア体験



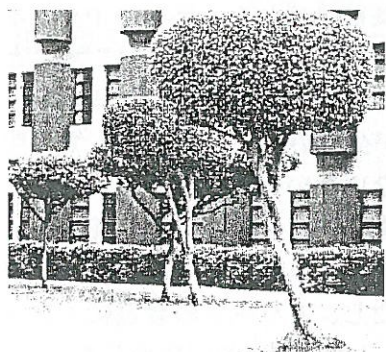
国旗と紋章



南米最古の大聖堂とコロンブス像



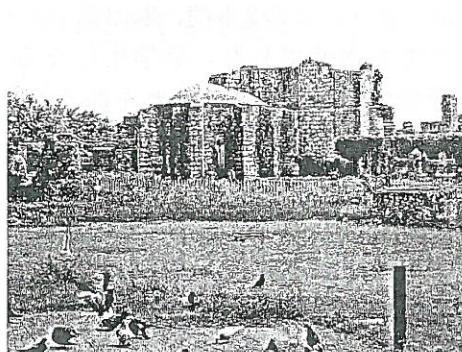
2006年10月4日から2008年10月10日までの2年間、ドミニカ共和国の首都サントドミンゴ市でシニア海外ボランティアをしてきた武石さん。



街路樹のラウエル



街路樹のパルマ



ソナユロニアルにある修道院の遺跡

次週例会 3月17日 **クラブ休会**

次々週例会 3月24日 「PETS報告」 樺山 仁 会長エレクト

